

活きた介護記録を書けるようになるための入門セミナー 介護記録の正しい書き方 徹底研修会 介護記録を書く“本当の目的”と、具体的な記録方法

介護記録を書く目的は何ですか？とお聞きすると、多くの方々が「法定保存文書だから」と答えます。しかしながら多くの介護事業者様から、この介護記録を正しく書いていなかった事によるトラブルが多いと伺っております。ご利用者、ご家族には到底理解できないような専門用語を連発させた暗号文章、主語述語がめっちゃめっちゃで全く意味不明な文章など、「使うための介護記録」になっていないケースが多いようです。法の要求を満たすことはもちろん、「みんなが使える介護記録」の正しい書き方を、実践を交えてお教え致します。

● 対象者：(施設介護向け)介護記録を日常的に書く方、介護記録を日常的にチェックする立場の方

1. 記録の準備と心構え

- 公的文書の決まり・・・誰が読んでも主旨が明確
- 「決まりだから書く」ではなく「みんなが使うから書く」
- 介護の仕事に一番大切な「ケアの継続性と連続性」
チームプレーのカギを握っているのが介護記録だ。
- 介護記録の誤った書き方がこんなトラブルに？

2. 記録としての文章の書き方

- 私情や所感ではなく、事実を記録すること。
私情と事実の違いって何だろう？
- ご利用者、ご家族に全く意味不明な記号や暗号
- 句読点を打つ場所によって全く意味が違う文章
- 実際にあったこんな介護記録

3. 介護記録が書けない原因を探る

- 介護記録が書けない「3つの壁」とは？

4. 記録の書き方の事例演習

- 「正しい介護記録の書き方」に従って、事例問題を元に介護記録を実際に書きながら練習します。

5. 職場内でのロールプレイ法

- 職場でも行う事ができる介護記録の書き方トレーニング法をご紹介します。

6. ケース記録の間違い探し

- 実際にあった「間違った介護記録」を題材に、間違いを探し正しい表現に修正するトレーニング実践



【講師紹介】梅沢佳裕（うめざわよしひろ）先生 福祉と介護研究所 代表
東北福祉大学 社会福祉学部卒業。介護専門学校で助教員を経て、特別養護老人ホーム・在宅介護支援センターの相談員を歴任し、デイサービス・グループホームの立上げを多数プロデュースする。現在は独立し『福祉と介護研究所』の代表。現在介護士・相談員スキルアップ研修など多数の講演活動、看護学校・介護専門学校講師を行なっている。社会福祉士、介護支援専門員。福祉住環境コーディネーター2級。著書『施設職員のための介護記録の書き方』（雲母書房）

【日時・会場】(千葉・船橋)平成22年7月23日(金)午前10時～午後4時 勤労市民センター

【受講料】7,350円(1名様)昼食代込み ※お座席に弁当をご用意いたします。

【定員】45名まで ※定員になり次第、受付終了となります。

HP

参加 申込書	法人名 事業所名		TEL	
	請求先 ご住所	〒 (法人宛・個人宛)	FAX	
7月23日 千葉・船橋	参加者 ご氏名	1	2	3
	名	※ご氏名はお申込み後でも変更できます		

切り取らずにこのままFAXにてお送りください。 **お申し込みは ▶ FAX 048-990-8630**

※お申し込み後、参加のご案内および請求書をお送りいたします。

<http://www.1rankup.com>

【企画・運営】アンビシャス株式会社 埼玉県越谷市蒲生西町1丁目3-68 サテライト6ビル3階 TEL:048-990-8639